TraceXtra™

クイックスタートガイド

目次

1章 TRACEXTRA™の紹介.....3
1.1 概要.....3
1.2 本書の内容.....3
1.3 TRACEXTRA™の紹介.....4
2章. 波形のダウンロード.....7
2.1 概要.....7
2.2 COM ポートの選択.....7
2.3 TDR から波形をダウンロード.....8
3章. TRACEXTRA™による波形データの取扱.....10
3.1 概要.....10
3.2 波形の表示/比較及びカーソルの選択.....10
3.2.1 複数の波形の表示.....11
3.3 ファイルメニュー.....13
3.3.1 保存した波形を開く.....13
3.3.2 保存オプション.....14
3.3.3 印刷/ページ設定.....15
3.4 編集メニュー.....15
3.4.1 波形のコピー.....15
3.4.2 波形の削除.....15
3.5 ツールメニュー.....16
3.5.1 波形のダウンロード.....16
3.5.2 COM 設定.....16
3.5.3 波形のアップロード.....16
3.5.4 Firmware Upload……
3.6 Toolbar Menu……..
Chapter 4. Advanced Features……
4.1 Firmware Upload……
Troubleshooting……...
Index

1 章 TraceXtra™の紹介

1.1 概要

TraceXtra™はWindowsに対応したPCアプリケーションで、ユーザはこれを利用して(株)グッドマンのTXシリーズ TDRから波形をダウンロードすることができます。

この文書では TraceXtra™ Software Version 1.0.004以降のインストール、設定及び使い方を説明しています。

この文書では、TX シリーズTDRからの波形のダウンロード及びダウンロードした波形の保存方法を記載しています。ただし現在発売中の本体･付属品は今後仕様変更や部品/機能が追加される可能性があります。更新があった場合は弊社ホームページを閲覧し最新の情報をご確認ください。オンラインヘルプではTraceXtra™の最新バージョンに言及しています。

1.2 本書の内容

1章ではTraceXtra™のユーザPCへのインストールについて説明します。2章ではTXシリーズ TDR上で保存された波形のダウンロード方法をステップバイステップで説明します。3章ではTraceXtra™の追加機能について説明します。4章ではいくつかの高度な機能について説明します。

- TraceXtra™の紹介
- USB設定
- TXシリーズから波形をダウンロード
- 波形の保存/削除/コピー/印刷
- 高度な機能

巻末にトラブル解決に関して説明しておりますのでお役立てください。

1.3 TraceXtra™の紹介

TraceXtra™はTXシリーズTDR用のWindows ®OS対応のPCアプリケーションです。 TraceXtra™は一度に50個の波形をダウンロードできます。

システム要件

TraceXtra™の実行には最低でも以下のような構成が必要です:

- PCと互換性のあるPentium® クラスシステム
- Microsoft Windows 98 SE, Windows 2000 SP2, Windows NT® SP6, Windows ME,Windows XP
- 16 MBメモリ (128MB推奨)
- 16 MBのハードディスクスペース

TraceXtra™のインストール/アンインストール

システム上にTraceXtra™をインストールする方法:

- いくつかのWindows OSではPC上にソフトウェアをインストールするために管理者権限が必要です。
- CD-ROMからインストールする場合、 CD-ROMをドライブに挿入してください。スクリーン上のメニューに従ってTraceXtra™をインストールしてください。スクリーン上にメニューが表示されない場合、Explorerを使ってCD-ROMメニューを検索して実行可能なファイルsetup.exeをダブルクリックしてください。

TraceXtra™のアンインストール方法:

- スタートから> すべてのプログラム>BI Communications>TDRSfot>からTDRSoftのアンインストールを選択してください。

TraceXtra™の実行:

TraceXtra™を起動する場合、インストール後にデスクトップ上にインストールされるアイコンをダブルクリックするか、スタート>すべてのプログラム>BI Communications>TDRSoft>TraceXtra™.exeを選択してください。スクリーンにはBI Communicationsロゴに続いて図1のウィンドウが表示されます。

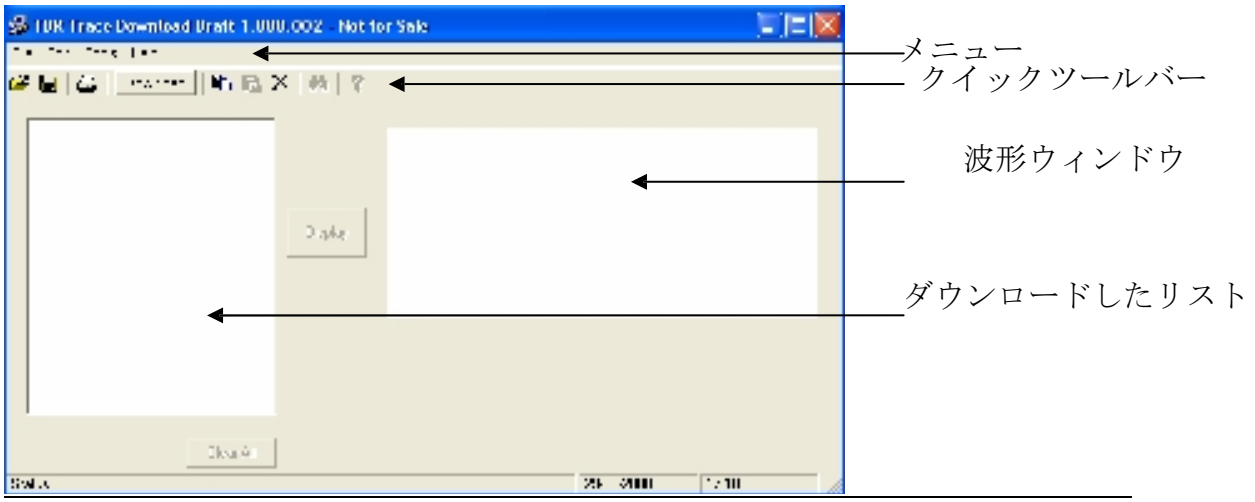

図 1 - TraceXtra™

2 章. 波形のダウンロード

2.1 概要

波形をダウンロードする場合、USBポートを通じてTXシリーズ TDRをパソコンに接続してください。TXシリーズTDRとTraceXtra™ではWindows仮想COM ポートVCPドライバを使用しますので、適切なCOMポートを選択してください。

2.2 COM ポートの選択

波形のダウンロードには適切なCOMポートの選択が不可欠です。TDRを接続してスイッチをオンにしてください。ドライバが正しくインストールされている場合、USBケーブル接続用の適切な通信ポートを設定する準備が完了しています。

ツールの選択->COM設定... これによって図(2.2.1)のウィンドウが開きます。ドロップダウンメニュー“COMポート”をクリックして利用可能なポートのリストから適切なポートを選択してください。“OK”をクリックしてください。

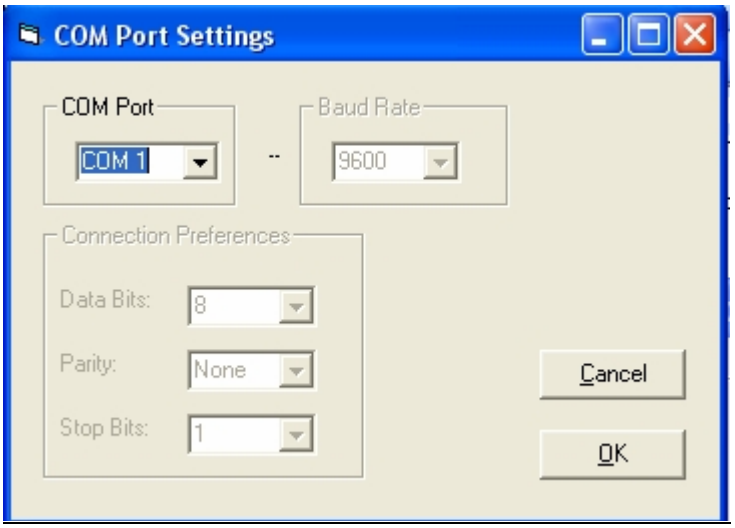

図 2.2.1 COMポート画面

注釈: TXシリーズ TDRはスタート画面の表示にしてください。本体上に波形が表示されている場合、もしくは波形が起動している場合にはTXシリーズはTraceXtra™と通信しません。詳細に関しては、適切な TXシリーズTDRユーザガイドをお読みください。

2.3 TDR から波形をダウンロード

TraceXtra™でTXシリーズTDRからデータを取得する準備ができました。ダウンロードを開始する場合、以下いずれかの方法を使ってください。TXシリーズTDRはスタート画面のままにしてください。

1. Tools->Download (Figure 2.3.1)

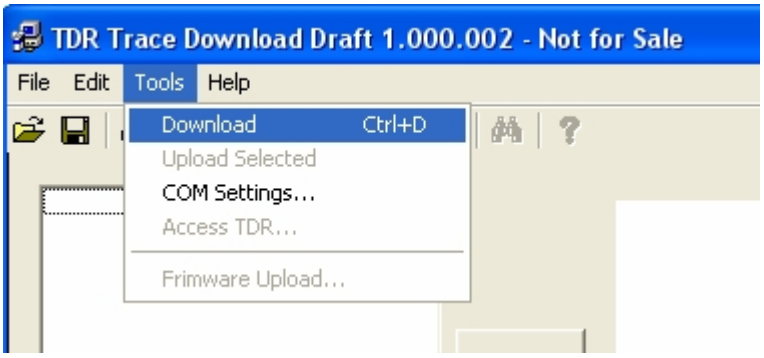

図1 ①Toolsメニューからダウンロードする方法

2. クイックツールバーメニュー上で“ダウンロード”（Download）ボタンをクリックしてください (図 2.3.2)

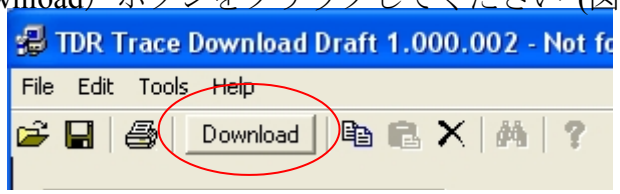

図 2.3.2クイックツールバーを使用する方法

3. ショートカットキーCTRL＋Dを使用

上記いずれかの方法で以下のスクリーンを表示してください (図2.3.3).

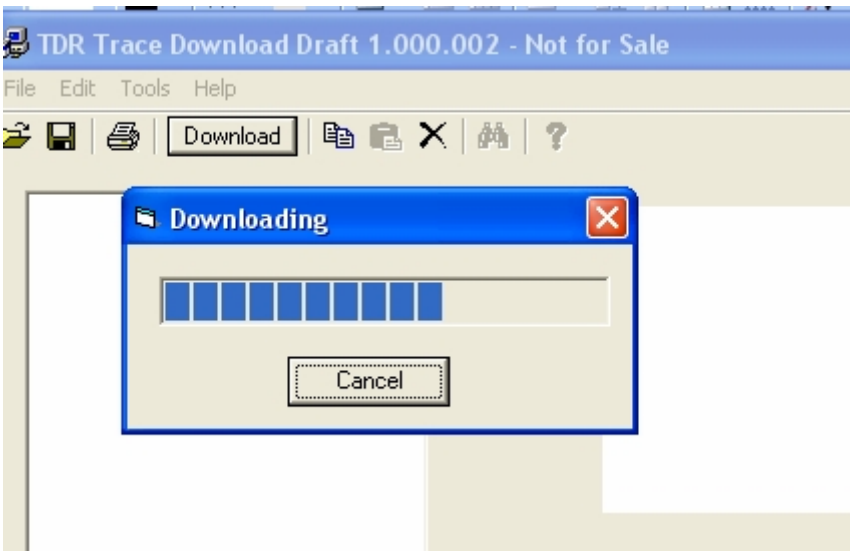

図 2.3.3 ダウンロード進行中

ダウンロードに成功するとダウンロードしたデータのリストが作成されます (図 2.3.4).

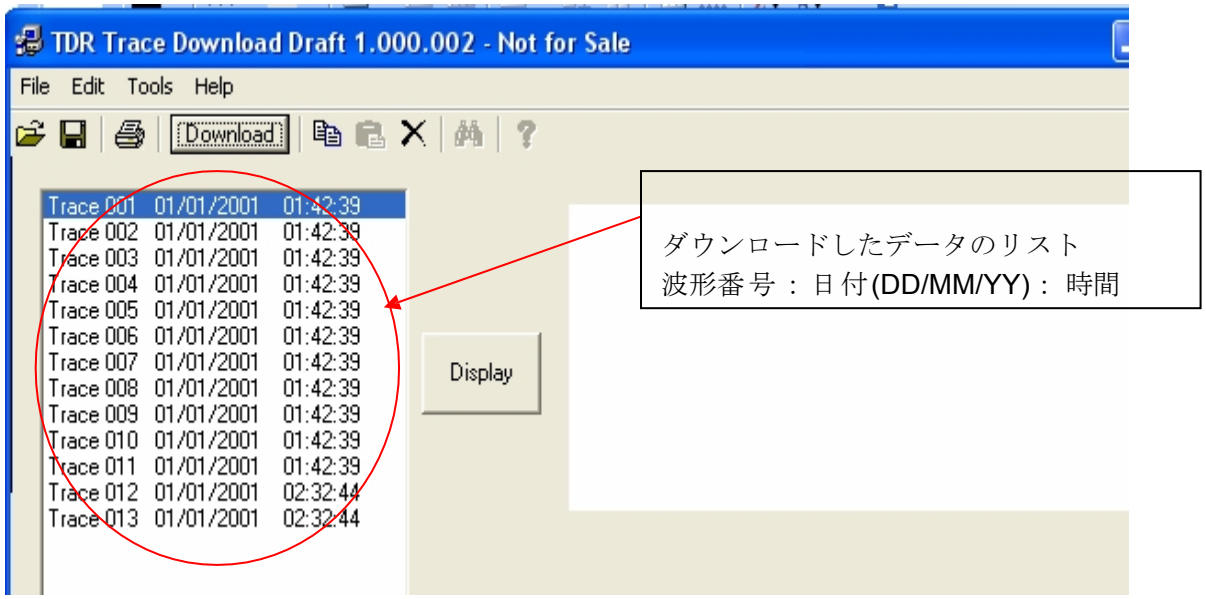

図 2.3.4 ダウンロードしたデータのリスト

2.4 ダウンロードしたデータのリスト

ダウンロードしたデータのリストには以下の情報が含まれます (図 2.4.1).

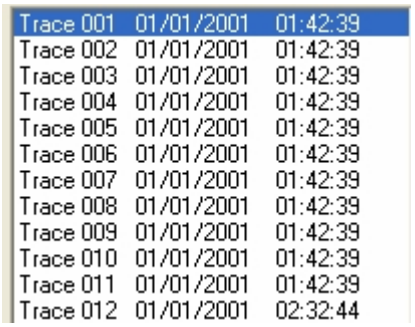

図2.4.1 ダウンロードしたデータのリスト

1. Trace No : TraceXtra™が指定する番号です。
2. Date :波形がTXシリーズTDRメモリに保存された日付です。DD/MM/YYYYフォーマットを使用します。
3. Time : 波形がTXシリーズ TDRメモリに保存された時間です。HH:MM:SSフォーマットを使用します。

注釈: TXシリーズTDR上で適切な日付が設定されていることを確認してください。日付を設定しない場合、TraceXtra™上の波形ディスプレイ上でエラーが発生します。

3 章.　TraceXtra™による波形データの取扱

3.1　概要

TXシリーズTDRから全てのデータが取得されている場合TraceXtra™の機能では標準的な 保存、開く、削除、コピー機能が使用できます。TXシリーズTDRが設定したパラメータをTraceXtra™によって編集することはできません。このようなパラメータには日付、時間、最長、VP%及びインピーダンス(Z)が含まれます。

3.2　波形の表示/比較及びカーソル選択

TraceXtra™上でダウンロードされた波形を表示する方法

1.ダウンロードしたリストから波形を選択する。

2.Displayボタンをクリックする。

画面には波形画面とスクロールバーの付いた以下のフォーマットが現れます。スクロールバーはTXシリーズTDRのカーソルに相当するものです (図 3.2.1).

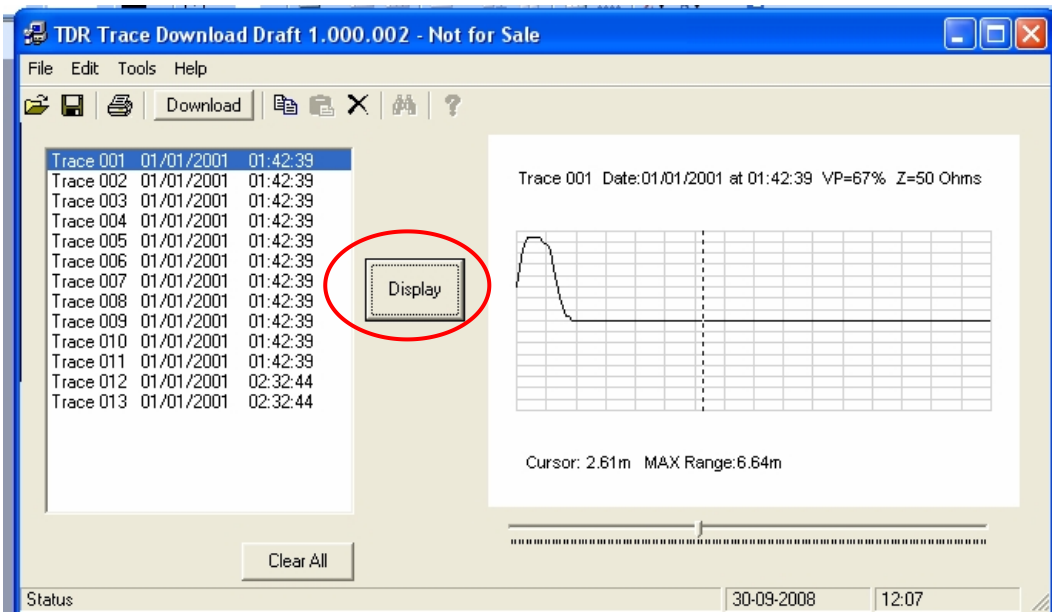

図 3.2.1 グラフの表示

波形画面は以下の情報で構成されます (図3.2.2).

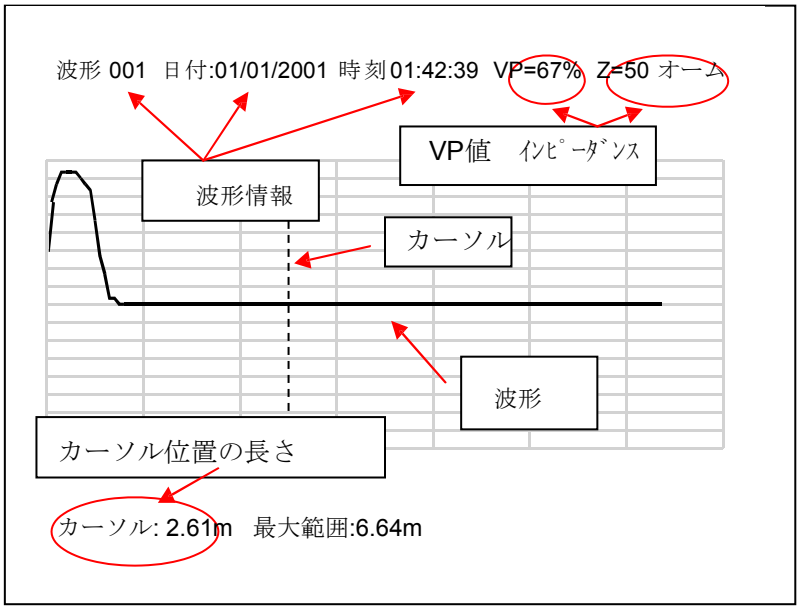

図 3.2.2 波形画面

波形情報はセクション2.4のダウンロードしたデータリストで表示される情報と同じです。ケーブルのVP値/ｲﾝﾋﾟｰﾀﾞﾝｽは波形の起動時点でTXシリーズTDRが設定したパラメータです。 スクロールバー (図 3.2.3)を使ってカーソルを移動してください。

図 3.2.3 カーソル

3.2.1 複数の波形の表示

CTRLキーを押したままで比較する必要のある複数の波形を選択してください。
Displayをクリックしてください。
この機能では同じ画面上で選択した波形すべてを表示します (図 3.2.4)。

注釈: TraceXtra™では同じ波形画面上に最大3つの波形を表示できます。TraceXtra™では同じパラメータ値を持つ複数の波形のみを表示可能です。

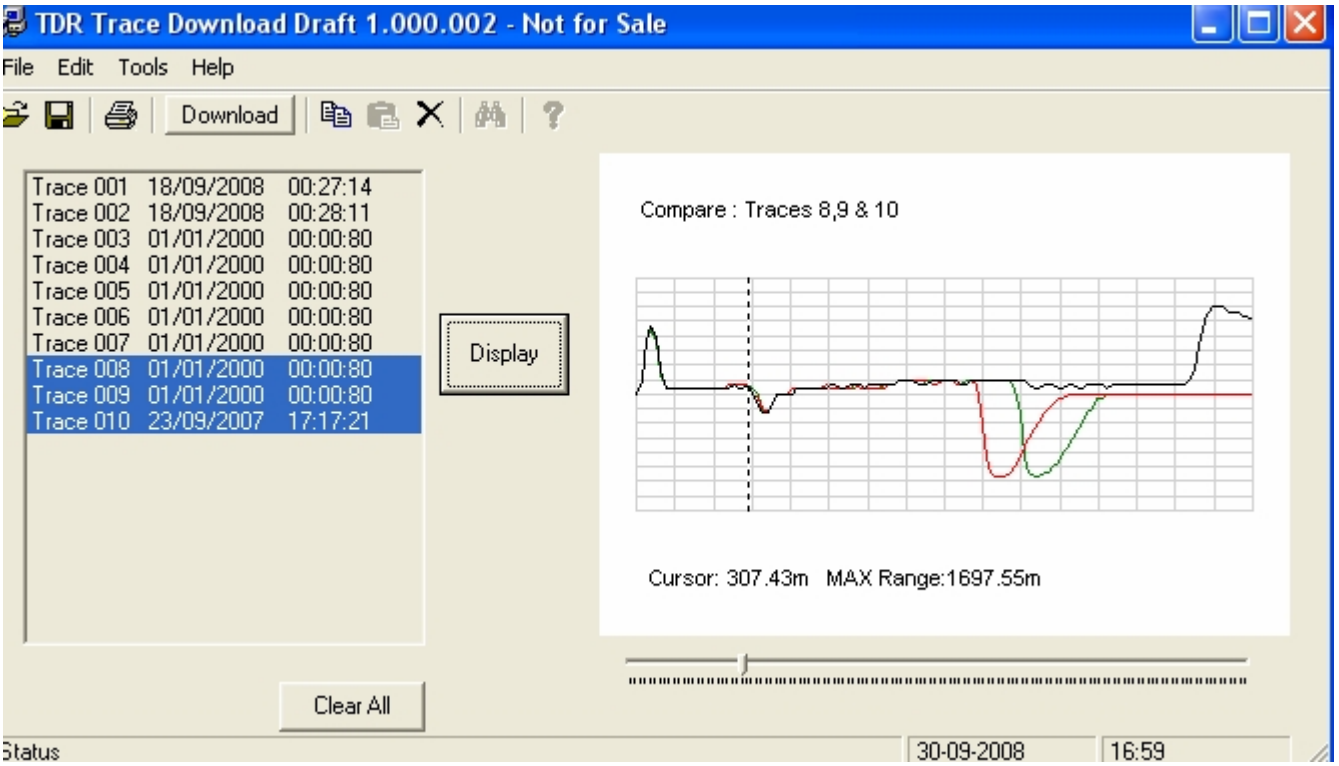

図3.2.4 複数の波形の表示

3.3 ファイルメニュー

3.3.1 保存した波形を開く

ユーザはパソコンのハードディスクに波形データを標準バイナリフォーマットで保存できます。TraceXtra™では複数の波形を１つの波形として表示するか、複数の波形のまとまりとして表示することができます。波形の保存については次の3.3.2で説明します。

保存した波形を開く方法

File> Openを選択してください。 新しい画面が開き、拡張子.binに絞られた全てのデータファイルが表示されます。(図 3.3.1).

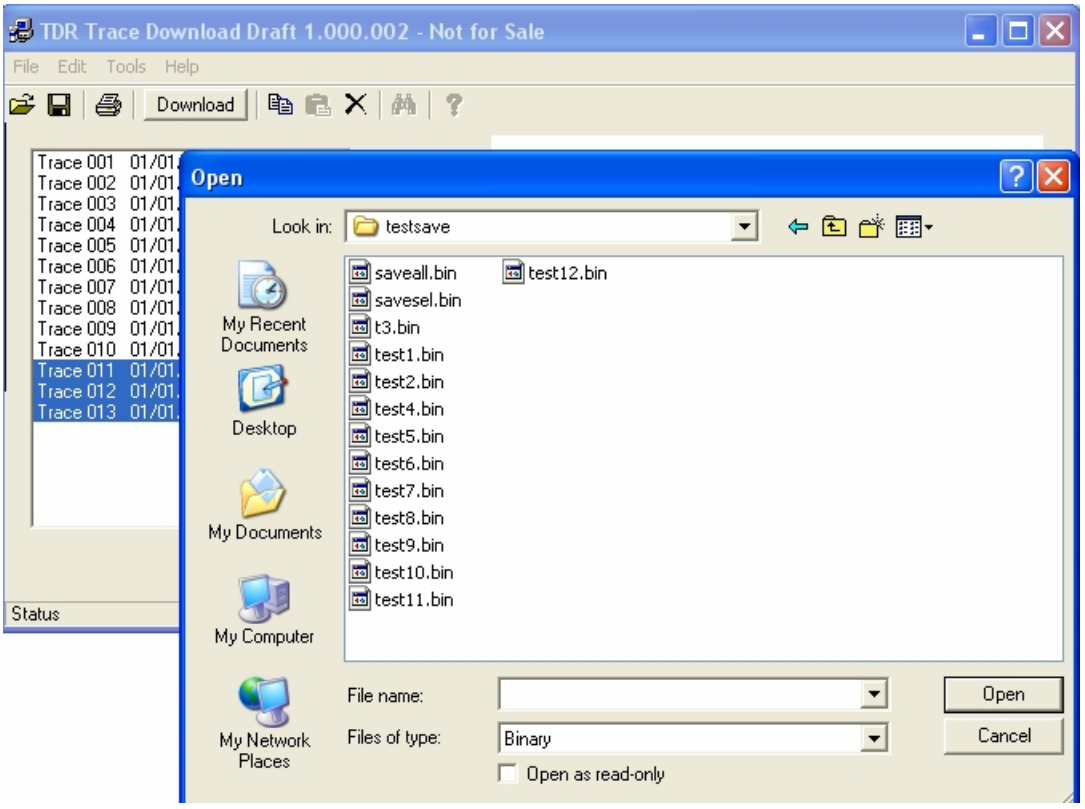

図 3.3.1 保存した波形を開く

ファイルを選択してOpenをクリックしてください。TraceXtra™ではリスト画面に保存された１つの波形もしくは波形のまとまりを読み込みます。これによってユーザはダウンロードした波形で作業するのと同じような方法で保存した波形を使って作業することができます。詳細に関しては、3章をご参照ください。

3.3.2 保存オプション

TraceXtra™は１つの波形、選択した複数の波形、もしくは全ての波形を1つのファイルに保存します。ファイルはバイナリ形式拡張子.binで保存されます。

現在表示されている波形を保存する場合: File -> Save Trace #As
(波形#に名前を付けて保存)

リスト画面で選択された全ての波形を保存する場合: File ->Save Selected As
(保存された波形に名前を付けて保存)

ダウンロードした全ての波形を保存する場合: File->Save All As
(全ての波形に名前を付けて保存

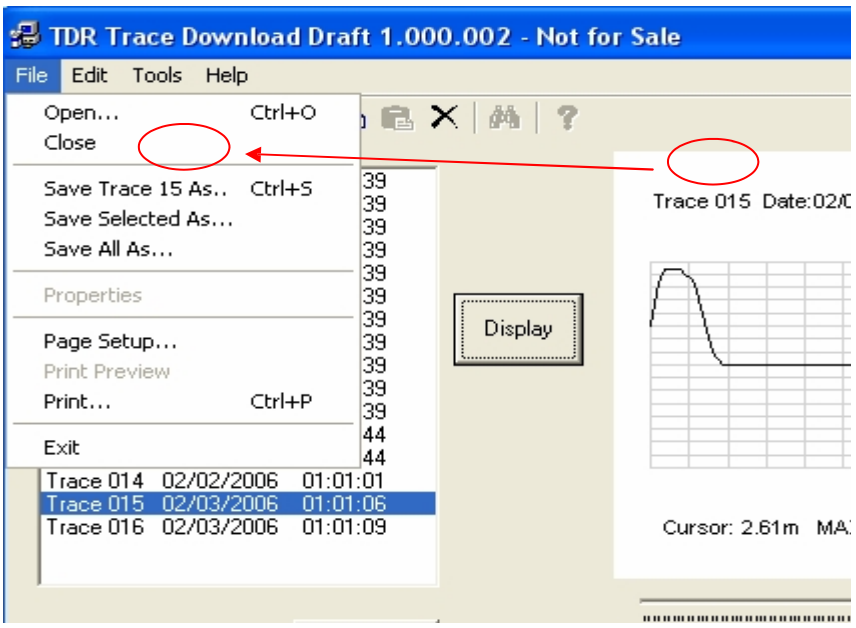

図 3.3.2

注釈: TraceXtra™では複数の波形を同時に表示できますが、ユーザはその波形画面を複数の波形として保存することはできません。ただ、TraceXtra™では複数の波形もしくはすべての波形をひとまとまりとして１つのファイルに保存し、また保存した通りに開くことが可能です。

3.3.3 印刷/ページ設定

TraceXtra™では波形画面に表示されている波形を印刷できます。
波形を印刷する場合、File->Printを選択してください。標準的なWindowsアプリケーションと同様にページサイズ、プリンタタイプなどを設定することも可能です。

3.4 編集メニュー

3.4.1 波形のコピー

TraceXtra™では波形をコピーして別のWindowsアプリケーションに画像もしくはテキストファイルとして貼り付けることが可能です。MS Excelのようなその他のアプリケーションにグラフを再現したい場合にはデータをテキストとして貼り付けると有効です。

TraceXtra™波形画面上に表示される波形をコピーするには Edit ->Copy を選択してください。

注釈: 画像をワープロソフトウェアに貼り付けると、画像以外のチャートデータのみが貼り付けられる場合があります。この問題を解決するために、ペイントのような画像処理ソフトウェアに波形をコピーして貼り付けてください。これを画像処理ソフトからもう一度コピーしてワープロソフトに貼り付けてください。

例:画像をMS Wordに貼り付ける方法

1. リスト画面から波形を選択してください。
2. “Display”をクリックしてください。
3. Edit -> Copyを選択します。
4. MS Powerpointやペイントソフトなどクリップボードから画像のみを受け取るアプリケーションに画像を貼り付けてください。
5. 画像をMS Wordにコピーして貼り付けてください。

3.4.2 波形の削除

リスト画面から波形を削除する方法：Edit-> Delete ・ Delete キー・ツールバー上の×アイコンをクリックしてください。

注釈: TraceXtra™で波形を削除してもTXシリーズTDRで保存している波形は削除されません。 TXシリーズTDRから波形を削除するには関連するTXシリーズ取扱説明書を参照してしてください。

3.5 ツールメニュー

3.5.1 波形のダウンロード
3.5.2 COM 設定

2章をご参照ください。

3.5.3 波形のアップロード

TraceXtra™ではアップロードする波形の量がTDR本体メモリ容量内であれば、パソコンハードディスクに保存されている波形をTXシリーズTDR本体にアップロードできます。TXシリーズ TDRでは最大50個の波形を保存できます。

波形をTXシリーズ TDRにアップロードする方法

1. アップロードする波形の選択方法
   ヒント: CTRLキーを押したまま波形を選択してください。連続する波形をまとめて選択する場合、SHIFTキーを押したままそのまとまりを選択してください (図3.5)。

2. Tool -> Upload　Selectedを選択してください (図 3.5)

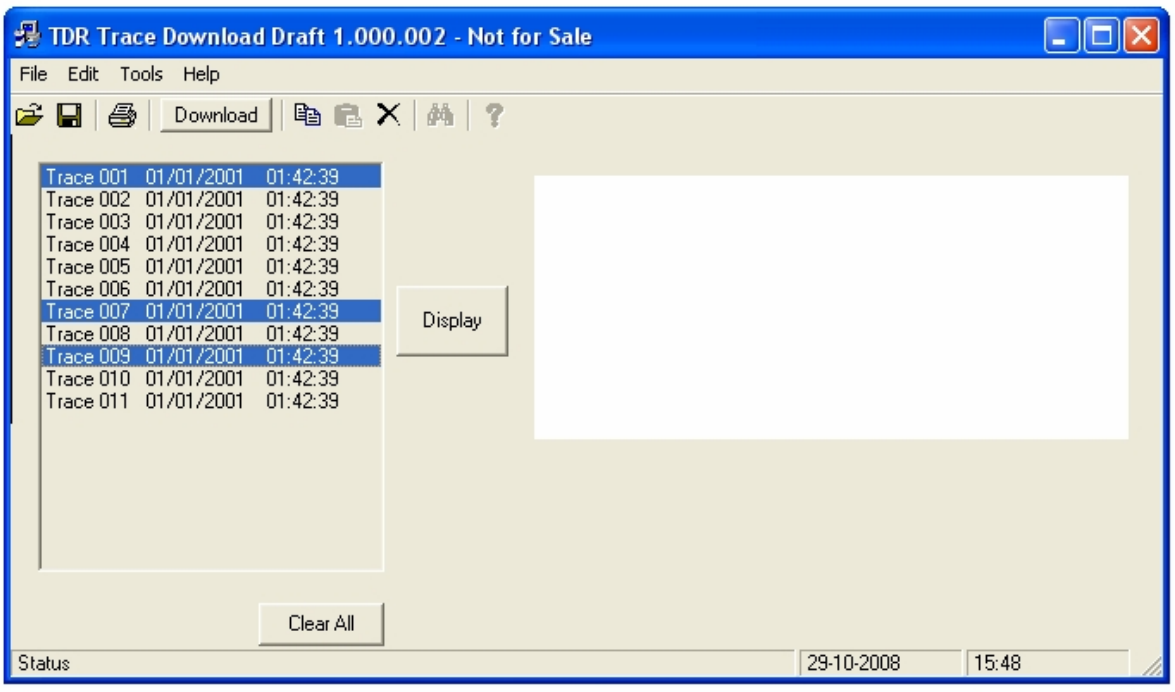

図 3.5